



平成29年7月10日

土木学会選奨土木遺産「網走港帽子岩ケーソンドック」を 使用したケーソン製作工事の説明をします。

～「網走港南防波堤ケーソン製作工事 現地記者説明会」の開催について～

網走開発建設部では、網走港において南防波堤を延伸する事業を行っています。事業の目的や内容について広く御理解いただくため、報道機関の方々を対象とした「現地記者説明会」を下記の日程で開催します。本説明会では、土木学会選奨土木遺産「網走港帽子岩ケーソンドック」において現場見学及び事業概要の説明を行います。

※土木学会選奨土木遺産の認定制度は、土木遺産の顕彰を通じて、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設されました。「網走港帽子岩ケーソンドック」は、平成18年度に選奨土木遺産として認定されています。（別紙1参照）

記

1. 日 時 : 平成29年7月19日(水) 10:00～11:00
2. 場 所 : 網走港帽子岩ケーソンドック
(集合場所については別紙2のとおり)
3. 実施内容 : 網走港帽子岩ケーソンドックにて、ケーソンドック施設の見学及び網走港南防波堤ケーソン製作工事の説明をします。
4. 取材申込 : 取材を希望される場合は、7月14日(金)までに、取材申込書(別紙3)にてFAXでお申込みください(FAX番号 0152-43-6157)
(悪天候等により中止する場合は担当から御連絡します。)

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部
築港課 上席築港専門官 小松 勝久 電話 0152-44-6596 (ダイヤルイン)
網走港湾事務所 第1工務課長 菅原 健一 電話 0152-44-5251 (内線26)
網走開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ab/>



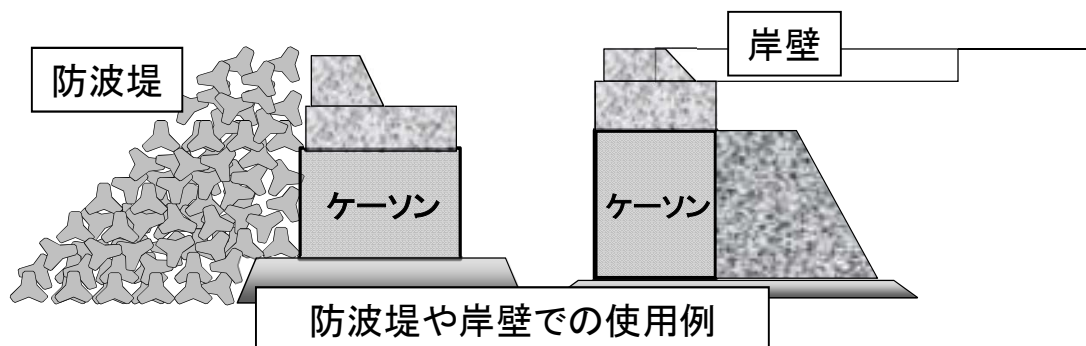
- 大型ケーソン(岸壁や防波堤等を構築するためのコンクリート製の箱)を製作するため、大正11~12年に建設された。
- 天然の岩盤を掘削し、それを壁面に利用した特徴的な構造。
- 現在までに500函余りのケーソンを製作している。
- 平成18年度に、土木学会選奨土木遺産に認定された。
受賞理由 ・天然の岩盤を掘削したケーソン製作専用ドライドック
・寒冷地海洋環境下のコンクリートケーソンによる築港技術を確立



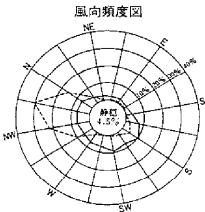
人力での
岩盤掘削
状況



ドックで完成したケーソン



網走港南防波堤ケーソン製作工事 現地記者説明会



風向頻度図
 1982年～1997年(15年)観測計
 方位角を15度刻みで観測計計
 半径10m/0.1%の方位別風向
 観測回数(%)

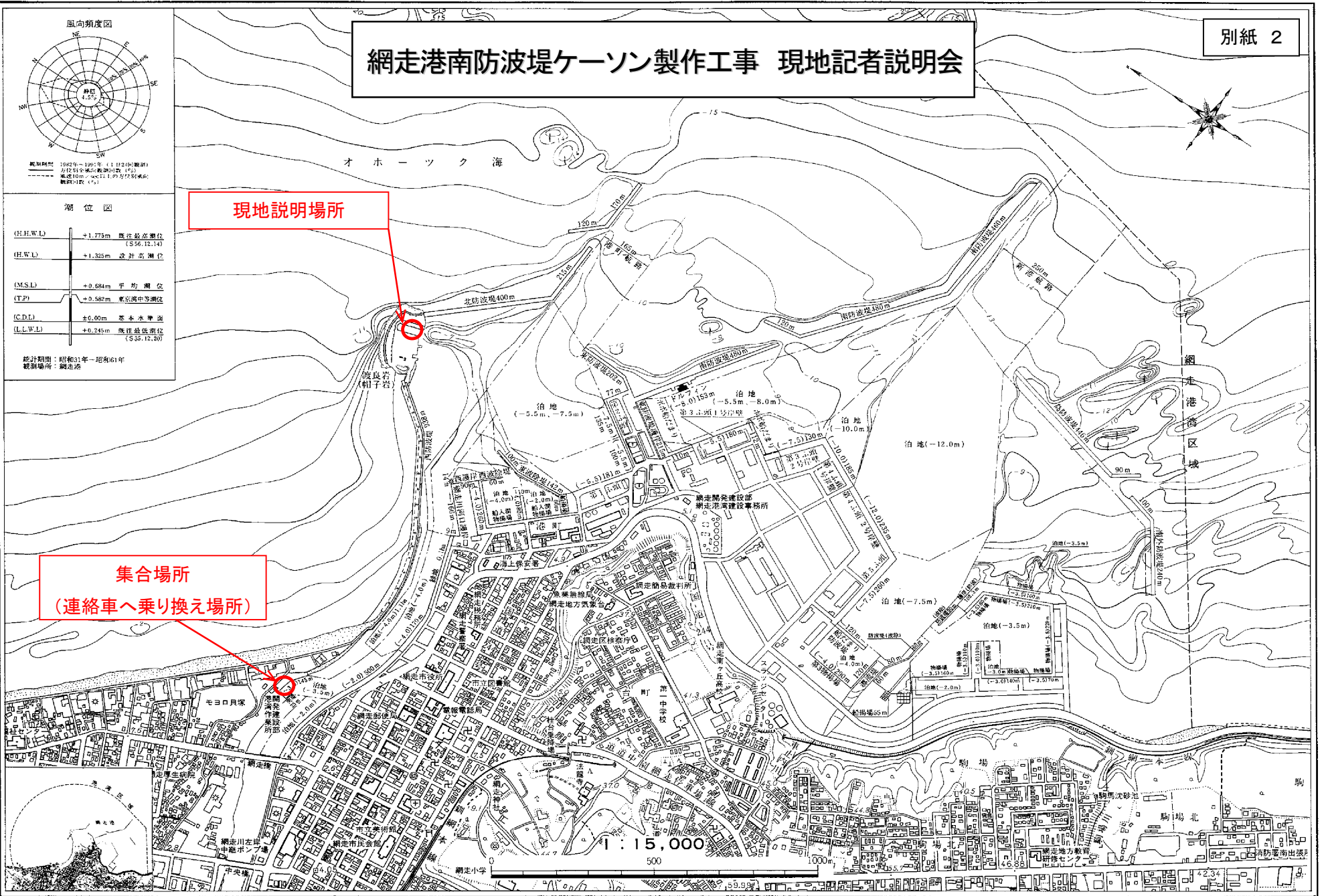
潮位図

(H.H.W.L)	+1.775m	既往最高潮位 (S56.12.14)
(H.W.L)	+1.325m	設計高潮位
(M.S.L)	+0.684m	平均潮位
(T.P)	+0.582m	東京湾中等潮位
(C.D.L)	±0.00m	基本水準面
(L.L.W.L)	+0.245m	既往最低潮位 (S35.12.20)

総計期間: 昭和31年～昭和61年
 観測場所: 網走港

現地説明場所

集合場所
 (連絡車へ乗り換え場所)



国土交通省 北海道開発局

網走開発建設部 網走港湾事務所

第1工務課 宛

申込先(FAX) 0152-43-6157

『網走港南防波堤ケーソン製作工事 現地記者説明会』

取材を希望される場合は、本申込書により、FAXにてお申し込みください。

申込締切りは、7月14日(金)です。

申込日:平成29年 月 日

会社名及び部署	
取材者氏名	
連絡先 (TEL)	

(悪天候等により中止する場合は担当から御連絡します。)